骨軟部腫瘍における ROR1 蛋白等の発現と予後との関連性を検討する後方視研究

1. 研究の対象

2007年1月1日から2021年12月31日の間に国立がん研究センター東病院でユーイング肉腫、骨肉腫、横紋筋肉腫、ならびに横紋筋肉腫以外の成人型軟部肉腫の治療を受けた方

2. 研究目的・方法

悪性骨軟部腫瘍の治療法は大きく成人型軟部腫瘍、骨肉腫、ユーイング肉腫、横紋筋肉腫に分けられますが、使用できる薬剤の数は限られており、疾患の希少性もあり他がん種に比べて治療開発が困難で、進んでいないのが現状です。特に骨肉腫、ユーイング肉腫、横紋筋肉腫では初回治療の効果は高いですが再発率も高く、再発後の予後は不良です。更に好発年齢が小児から若年成人世代であることから治癒したとしても殺細胞性薬剤による重篤な晩期障害が問題視され、晩期合併症を回避する殺細胞性薬剤以外の治療法の開発が求められています。

今回、殺細胞性薬剤以外の薬剤の治療開発に結び付けるための基礎データとして骨軟部腫瘍における ROR1 等各種蛋白の発現を評価し、予後との関連性を検討することを目的としています。研究の方法は研究対象者の既存の試料の染色と診療録を後ろ向きに調査します。本研究に関する ROR1 等の免疫染色業務は、株式会社ジェネティックラボに委託します。

株式会社ジェネティックラボ

〒060-0009 札幌市中央区北9条西15丁目28番196 札幌 IT フロントビル 3F

研究実施期間：研究許可日から2027年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：診断のために使用した既存の腫瘍検体

情報：年齢、性別、病歴、組織型、病期、手術や化学療法の種類と日時、化学療法の臨床的および病理学的効果、再発後の治療法、予後の情報等、各種血液検査値、がん遺伝子パネル検査情報等

4. 試料・情報の授受

単機関研究であり、他機関への試料・情報の提供は行いません。

5. 研究組織・研究責任者

研究責任者

国立がん研究センター東病院 腫瘍内科 向原徹

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 小児腫瘍科、腫瘍内科 細野亜古

TEL 04-7133-1111

当センターの研究責任者：国立がん研究センター東病院 腫瘍内科 向原徹